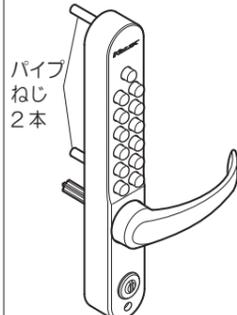
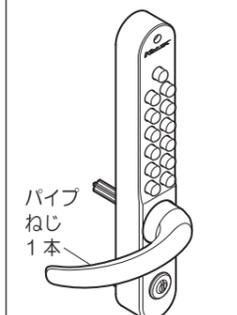
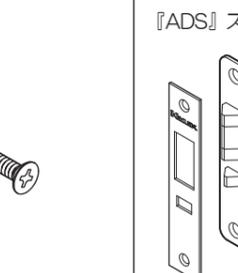
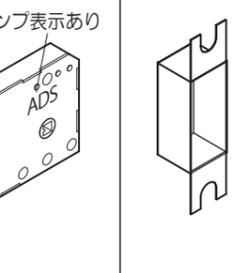
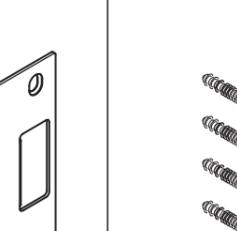
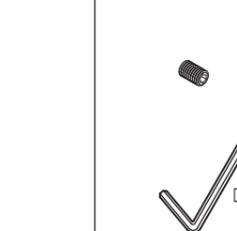
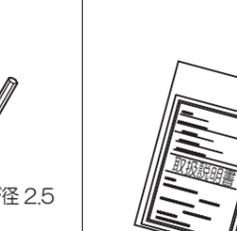


# 自動施錠 両面ボタン 取付説明書



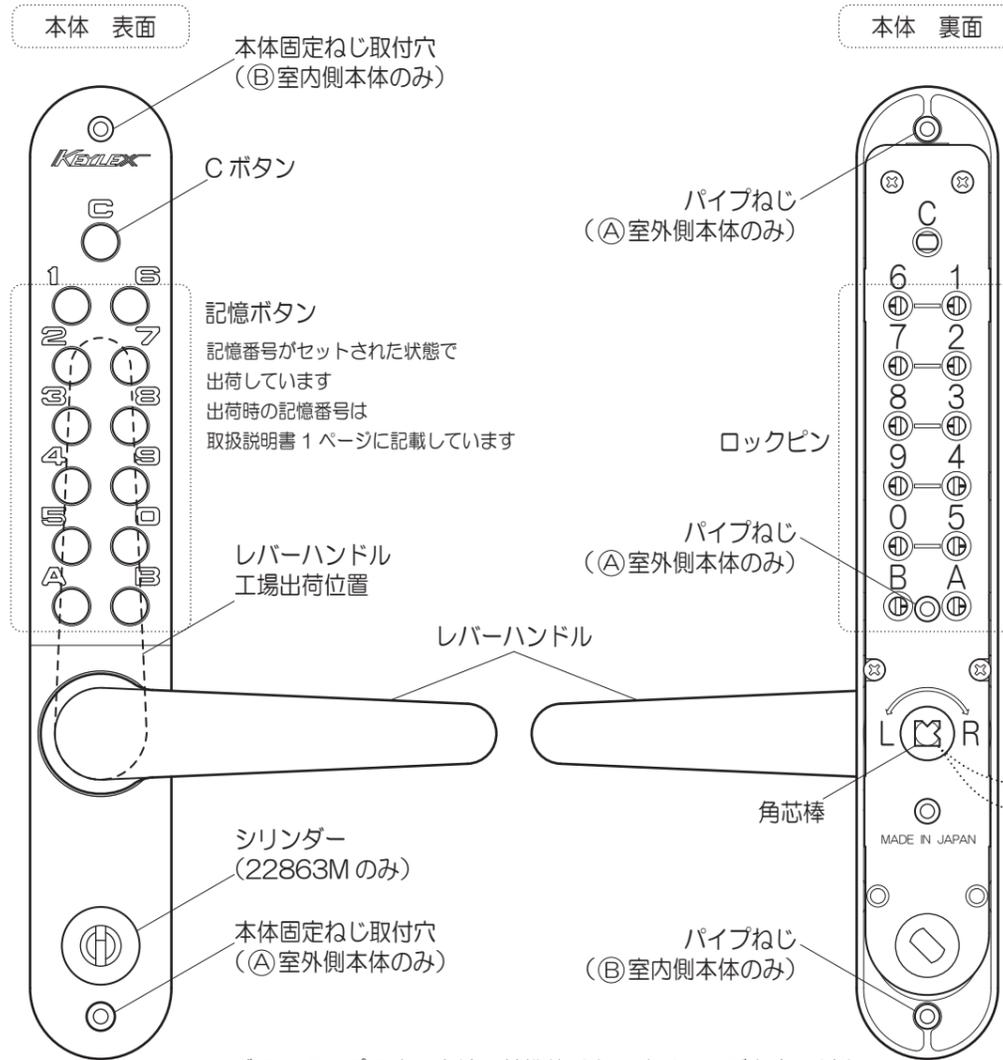
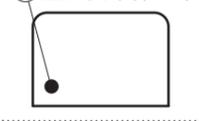
このたびはNAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
 製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。  
 引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。  
 締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

 パイプねじ 2本 ① 室外側本体 (底面マーキングなし) 1	 パイプねじ 1本 ② 室内側本体 (底面マーキングあり) 1	 呼び径 3 ③ 本体固定ねじ M5× 扉厚に応じた長さ 2 ④ 六角レンチ 1	 ⑤ 両面用ねじ受け 1	 ⑥ 本体仮止めねじ M5× 扉厚に応じた長さ 1	 『ADS』スタンプ表示あり ⑦ ADS 錠 set 1	 ⑧ 受座 set 1	 ⑨ 錠・受座取付ねじ M4× 長さ 25 mm 4 ⑩ 六角レンチ 1	 呼び径 2.5 ⑪ 六角穴付きねじ M5× 長さ 8 mm 1 ⑫ 六角レンチ 1	 ⑬ 取扱説明書 set 1	 【キーNo.(キーに刻印有)の確認】 二重リングを外すと、黒い樹脂 ホルダーとキーに分けられます。 ⑭ キー (22863Mのみ⑬に同梱) 2
--	---	---	--	--	--	--	--	---	---	---

## 1 各部の名前

②室内側本体のみ

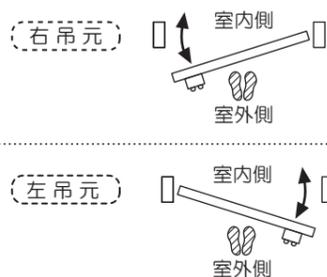


## 2 取付前の準備

⑤作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

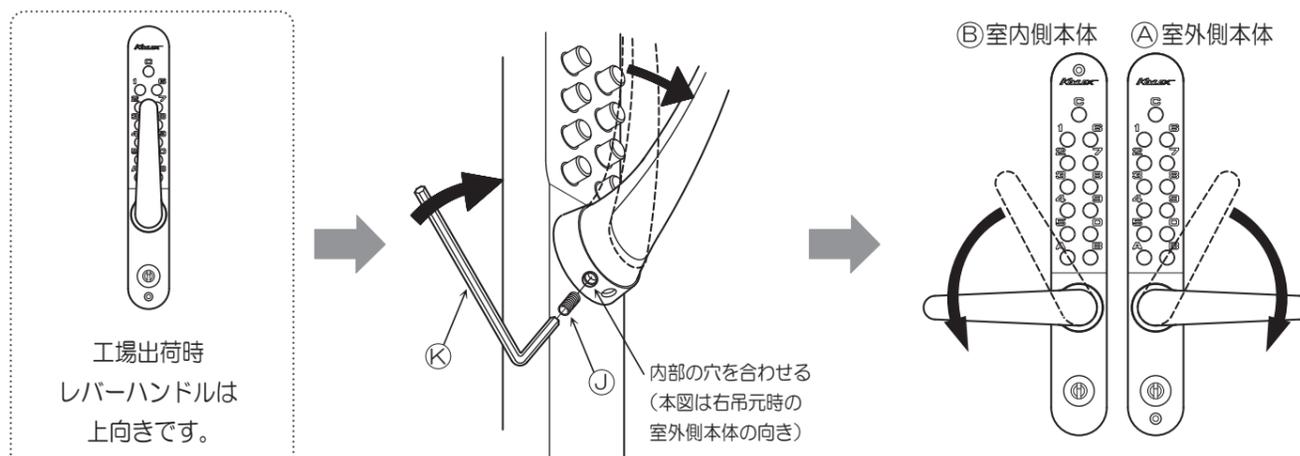
### 【1】扉の吊元の確認

室外側から見て、扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します。



### 【2】①室外側本体②室内側本体のレバーハンドルを、左右対称に向きを変え固定します。

レバーハンドルの向きは対称にセットします。(本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。)



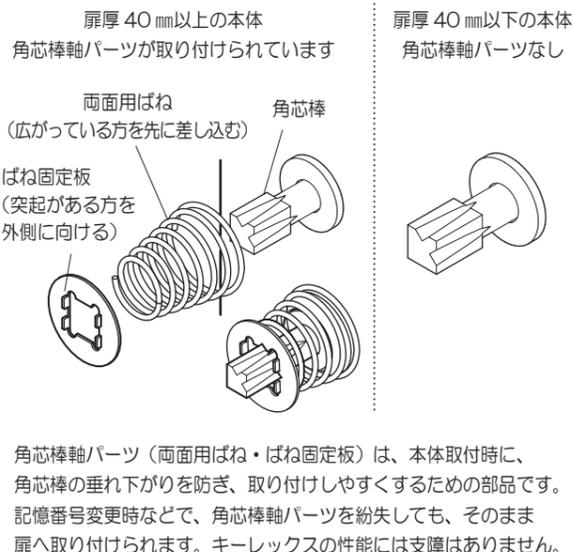
- I: C ボタンを押し、正しい記憶番号を押します。(記憶番号は、取扱説明書 1 ページ参照)
- II: 吊元に合わせて、レバーハンドルを 30 度傾け、レバー座金下穴とレバー軸タップ穴を合わせたまま、
- III: ⑩六角穴付きねじを、⑫六角レンチで固定します。

※: ⑩六角穴付きねじをセットすると、逆吊元へのレバー操作は出来ません。ご注意ください。

- IV: レバーハンドルを吊元に合わせて正常な位置に向きを変えます。安全装置が作動しますので、強い力で向きを変えます。レバーが横向きになれば完了です。

V: C ボタンを押し、正しい記憶番号を押します。レバーハンドルを下向きに動かし戻す事を確認します。

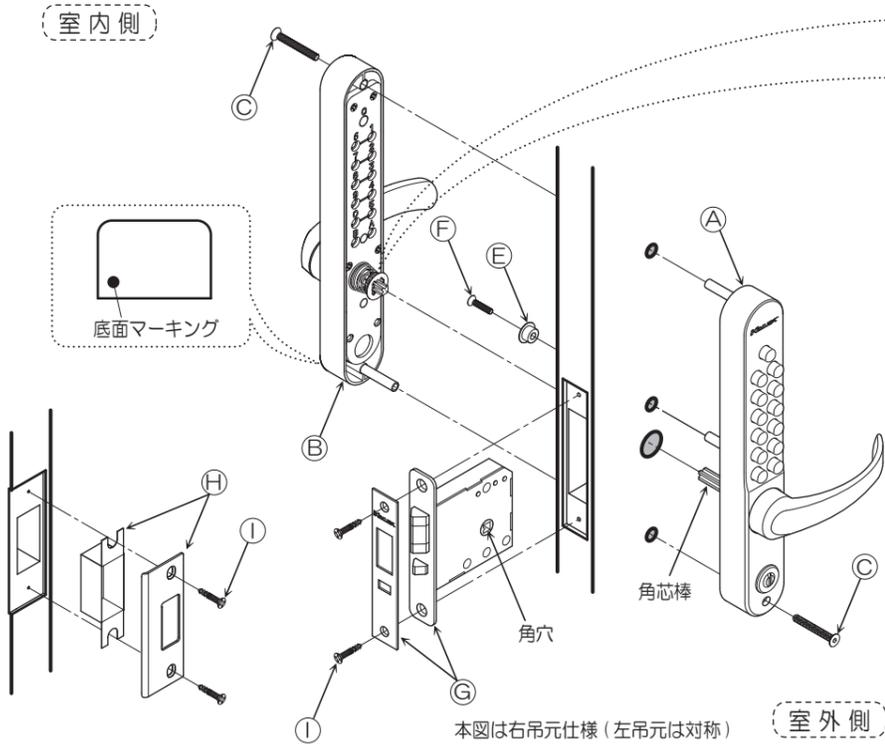
VI: ①室外側本体②室内側本体のレバーハンドルの向きは左右対称にセットします。



### 3 扉への取り付け穴加工

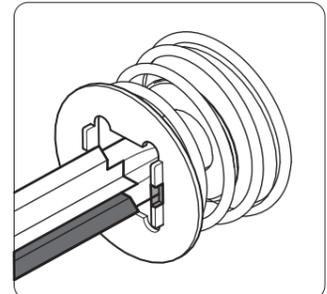
Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体・Ⓒ ADS 錠 set・Ⓓ 受座 set の取り付け穴加工をします。  
(KL800 自動施錠 両面ボタンタイプ専用切欠図参照)

### 4 ADS 錠・受座・キーレックス 800 両面ボタンの取り付け

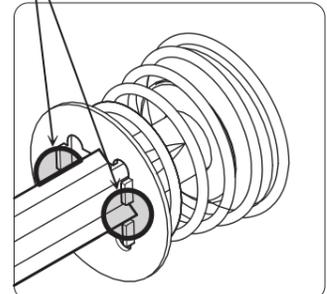


【扉厚 40 mm 以上の場合】  
Ⓐ 室外側本体、Ⓑ 室内側本体 裏側の  
角芯棒軸パーツのばね固定板の位置を調整する

① ばね固定板を角芯棒の根元まで押し込み、  
ばね固定板を45度回転させて  
ばね固定板の突起と突起の間■に  
角芯棒の角■をセットする。



② ばね固定板を動かしながら位置を調整し、  
ばね固定板の突起と突起の間、  
対角2か所それぞれに角芯棒の角が  
嵌め込まれているのを確認する。



※ Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体の記憶番号を変更するときは、ここでおこないます。  
右欄『記憶番号の変更方法』参照

※ 鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。

I: Ⓒ ADS 錠 set を、① 錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。

II: Ⓓ 受座 set を、① 錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。

III: 室外側に、Ⓐ 室外側本体 (裏側パイプねじ 2 本・底面マーキングなし) をセットし、  
Ⓔ 両面用ねじ受けと、Ⓕ 本体仮止めねじで固定します。

IV: 室内側に、Ⓑ 室内側本体 (裏側パイプねじ 1 本・底面マーキングあり) をセットし、  
Ⓖ 本体固定ねじ 1 本で、Ⓑ 室内側本体を、Ⓖ 六角レンチで固定します。

V: Ⓒ 本体固定ねじ 1 本で、Ⓐ 室外側本体を、Ⓖ 六角レンチで固定します。

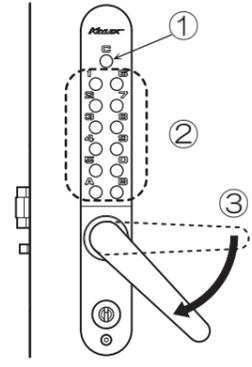
※: 取り外しの時は、底面マーキングありの、Ⓑ 室内側本体を外してから、仮固定してある Ⓐ 室外側本体を外します。

### 5 作動確認: レバーハンドルが作動しない場合は、② ④ をもう一度確認してください。

72757601

本体は Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体とも確認します

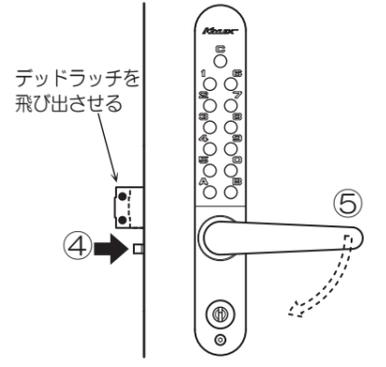
解錠



解錠

① C ボタンを押します。  
(誤操作の記憶番号が解除されます)  
② 現在の記憶番号を押します。  
③ レバーハンドルが動くことを確認します。  
※ ボタンを押しながら、レバー操作をしない。  
※ 反対側本体も確認します。

施錠



施錠

④ 錠のトリガーを押し、デッドラッチを  
飛び出させます。(施錠状態にする)  
⑤ レバーハンドルが動かないことを確認します。  
※ 反対側本体も確認します。

鍵付タイプの場合は、ボタン操作を行わずに、キー操作でも解錠できます。  
解錠: ① シリンダーにキーを入れて回し、デッドラッチが引き込まれることを確認します。

記憶番号の変更方法: 取り付けと逆の順序で扉から取り外して記憶番号の変更をします

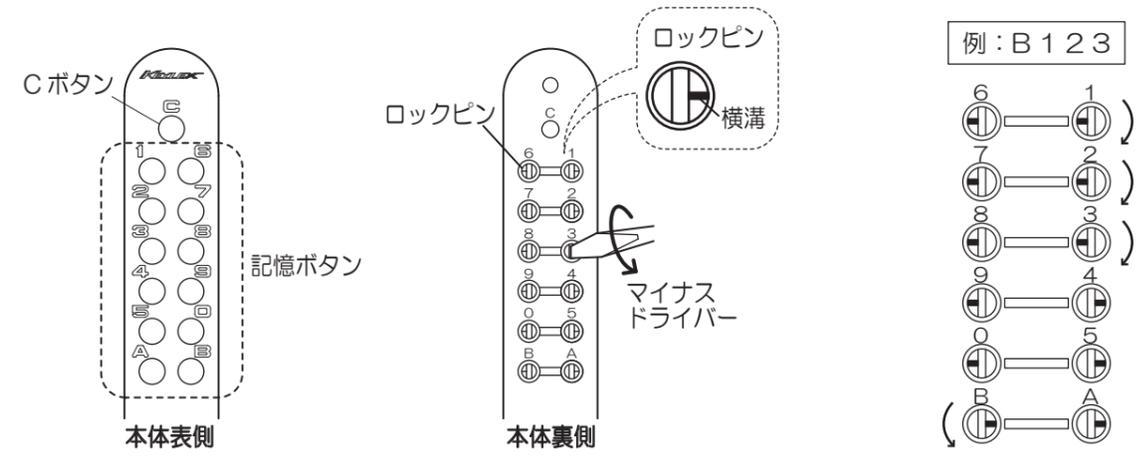
Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体それぞれに、記憶番号が設定できます。

① 本体表側の **C ボタン** を押します。  
⑤ まで、記憶ボタンは押さないで  
ください。

② 本体を裏向きにし、記憶されている  
ロックピンを回転させ  
(右側は左回転、左側は右回転で  
ロックピンの横溝を外向きにする)  
④ 新しい記憶番号のロックピン横溝を  
すべてをクリアします。

③ 新規に記憶する番号を必ず記録します。  
別紙取扱説明書 1 ページに記入欄があります。  
④ 新しい記憶番号のロックピン横溝を  
中央部の横溝にあわせませす。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する  
場合があります。必ず押してください。



⑤ C ボタン+新しい記憶番号を押し、レバーハンドルが解錠方向に回ることを確認します。  
⑥ ④ 取り付けと ⑤ 作動確認をします



株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032  
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)  
FAX. 06-6783-5092

www.nagasawa-mfg.co.jp